



「誰でもがひとしく教育を受けられる！」ことは日本では当たり前とされています。しかし、本当にそうでしょうか？ OECD各国と比較すると、日本の教育予算は最低水準です。お金がないために、高校や大学に行けないのは、憲法26条に反しているのです！ 「高校生授業料の無償化の復活」と「給付制奨学金の給付」をしっかりと要求していきましょう！